

2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年1月29日

上場会社名 株式会社KSK 上場取引所 東
 コード番号 9687 URL https://www.ksk.co.jp
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 牧野 信之
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員管理本部長 (氏名) 川辺 恭輔 TEL 042-378-1100
 四半期報告書提出予定日 2021年2月4日 配当支払開始予定日 ー
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年12月31日）

(1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	12,643	0.6	1,140	19.9	1,527	55.9	1,026	57.5
2020年3月期第3四半期	12,562	6.5	950	△1.4	979	△0.9	652	△1.9

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,094百万円 (53.9%) 2020年3月期第3四半期 711百万円 (29.1%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	171.57	168.57
2020年3月期第3四半期	109.39	107.08

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第3四半期	16,139	12,142	74.3	2,009.44
2020年3月期	15,550	11,444	72.8	1,883.43

(参考) 自己資本 2021年3月期第3四半期 11,985百万円 2020年3月期 11,313百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	0.00	—	55.00	55.00
2021年3月期	—	0.00	—		
2021年3月期(予想)				67.00	67.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	17,600	1.9	1,500	△7.0	2,000	21.1	1,330	22.8	222.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：有

(注) 詳細は、添付資料P7「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2021年3月期3Q	7,636,368株	2020年3月期	7,636,368株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	1,671,861株	2020年3月期	1,629,571株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	2021年3月期3Q	5,985,204株	2020年3月期3Q	5,960,979株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	5
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間における我が国の経済は、新型コロナウイルス感染拡大の渦中、一時は経済活動低迷に底打ち感が見られたものの、その後、いわゆる第3波に見舞われ、再び経済活動が低滞し非常に厳しい状況となっております。更に、新型コロナウイルスの感染拡大は世界的にも、いまだ収束の兆しが見えない状況で、世界経済に深刻な影響を与えております。加えて米中対立激化の影響等、世界経済の先行きは一層不透明な状況となっております。

当社グループが属する情報サービス産業界におきましても、新型コロナウイルス感染拡大の沈静化が見込めない中、先行きは不透明な状況が続いております。一方で、コロナ禍における企業のテレワーク、サテライトオフィス推進に向けたクラウド環境整備や仮想化ニーズの高まり、サイバーセキュリティ強化等の需要がより一層高まってきております。加えて新政権でのデジタル庁新設等、5Gやデジタル・トランスフォーメーション(DX)等の「デジタル・シフト」への変容は、そのスピードを一層加速させています。

このような環境の中、当社グループでは社会的要請に応えつつ、稼働率の維持・改善に努める一方、費用圧縮効果等による、利益率の改善に努めてまいりました。また、新卒新入社員に対し、感染予防対策を徹底のうえ実施した5ヶ月以上にわたる基礎教育等により、拡大する市場の需要へ機動的に対応できる体制づくりを整えてまいりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は12,643百万円で80百万円の増加(前年同期比0.6%増)と前年同期比で増収となる一方、売上総利益は、新人研修の長期化に伴う当第2四半期までの稼働率の低下等が影響したこと等から、2,578百万円となり、前年同期比で54百万円(前年同期比2.1%減)の減益となりました。営業利益につきましては、コロナ禍における感染拡大防止の一環として採用活動や集合研修を抑制していたこと等により販売費及び一般管理費が減少したこと等から、1,140百万円で189百万円の増加(前年同期比19.9%増)、経常利益につきましては、新卒新入社員向け研修等に関する雇用調整助成金収入が加わったことから、1,527百万円で547百万円の増加(前年同期比55.9%増)となり、いずれも前年同期比で増益となりました。親会社株主に帰属する四半期純利益につきましては1,026百万円で374百万円の増加(前年同期比57.5%増)となり、前年同期比で増益となりました。

セグメント別の経営成績は次のとおりであります。

(イ) システムコア事業

通信機器部品の機構設計、医療装置の設計開発業務に関しては堅調に推移しております。一方、車載関連の半導体設計並びに組込ソフトウェア開発に関しては、市況の悪化に伴い受注量が減少したこと等から、売上高は2,365百万円(前年同期比0.9%減)、セグメント利益は535百万円(前年同期比8.1%減)となりました。

(ロ) ITソリューション事業

スマートデバイス検証サービス、実機レンタルサービスが堅調です。一方、自社開発したパッケージソフトウェアに関しては、新型コロナウイルス感染拡大の影響から自粛していた営業活動を、第2四半期以降徐々に再開しているものの、成果には至らなかったことから売上高は3,012百万円(前年同期比3.8%減)となりました。一方、費用面において、自社開発のパッケージソフトウェアに関しては改良や開発体制の整備への追加投資が一巡したこと等から、セグメント利益は338百万円(前年同期比14.5%増)となりました。

(ハ) ネットワークサービス事業

各種ネットワークの新規構築や運用・保守業務の受注はコロナ禍においても堅調に推移していることから、売上高は7,265百万円(前年同期比3.1%増)となりました。一方、受注機会を的確に捉え、拡大する需要に対応できる体制づくりに努めたものの、稼働率の低迷が影響したこと等により、セグメント利益は1,435百万円(前年同期比3.6%減)となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第3四半期連結会計期間末における流動資産は9,993百万円となり、前連結会計年度末に比べ558百万円増加いたしました。これは主に、現金及び預金が651百万円、有価証券が201百万円、仕掛品が170百万円それぞれ増加した一方で、受取手形及び売掛金が434百万円減少したこと等によるものであります。固定資産は6,146百万円となり、前連結会計年度末に比べ30百万円増加いたしました。これは主に投資有価証券が159百万円増加した一方で、有形固定資産が21百万円、無形固定資産が80百万円減少したこと等によるものであります。

この結果、総資産は16,139百万円となり、前連結会計年度末に比べ588百万円増加いたしました。

(負債)

当第3四半期連結会計期間末における流動負債は2,527百万円となり、前連結会計年度末に比べ133百万円減少いたしました。これは主に、その他流動負債に含まれる預り金が272百万円、未払費用が156百万円、それぞれ増加した一方で、賞与引当金が497百万円、未払法人税等が29百万円、流動負債のその他に含まれる未払消費税等が48百万円、それぞれ減少したこと等によるものであります。固定負債は1,469百万円となり、前連結会計

年度末に比べ24百万円増加いたしました。これは主に退職給付に係る負債が24百万円増加したこと等によるものであります。

この結果、負債合計は3,997百万円となり、前連結会計年度末に比べ109百万円減少いたしました。

(純資産)

当第3四半期連結会計期間末における純資産は、12,142百万円となり、前連結会計年度末に比べ698百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が696百万円、その他有価証券評価差額金が52百万円増加する一方で、自己株式の取得により95百万円減少したこと等によるものであります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、2020年10月30日の「2021年3月期 第2四半期決算短信」で公表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2021年3月期の連結業績予想につきましては、新型コロナウイルス感染拡大や直近の経済動向を踏まえ、当第3四半期連結累計期間の業績及び現時点において入手可能な情報に基づいて、連結予想を算出いたしました。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,160	5,811
受取手形及び売掛金	3,461	3,026
有価証券	601	802
仕掛品	78	248
原材料及び貯蔵品	1	1
その他	133	102
貸倒引当金	△0	△0
流動資産合計	9,434	9,993
固定資産		
有形固定資産	554	533
無形固定資産	171	90
投資その他の資産		
投資有価証券	4,455	4,615
その他	933	907
投資その他の資産合計	5,389	5,522
固定資産合計	6,115	6,146
資産合計	15,550	16,139
負債の部		
流動負債		
買掛金	197	179
未払法人税等	292	263
賞与引当金	1,126	628
工事損失引当金	1	0
その他	1,043	1,455
流動負債合計	2,660	2,527
固定負債		
退職給付に係る負債	1,204	1,228
資産除去債務	46	47
その他	194	193
固定負債合計	1,445	1,469
負債合計	4,106	3,997
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,448	1,448
資本剰余金	1,661	1,665
利益剰余金	9,079	9,775
自己株式	△1,077	△1,172
株主資本合計	11,112	11,717
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	272	325
退職給付に係る調整累計額	△71	△57
その他の包括利益累計額合計	201	267
新株予約権	125	150
非支配株主持分	5	6
純資産合計	11,444	12,142
負債純資産合計	15,550	16,139

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	12,562	12,643
売上原価	9,928	10,064
売上総利益	2,633	2,578
販売費及び一般管理費	1,682	1,438
営業利益	950	1,140
営業外収益		
受取利息	12	17
受取配当金	9	10
助成金収入	1	354
その他	5	5
営業外収益合計	29	388
営業外費用		
支払利息	0	—
保険解約損	—	0
その他	0	0
営業外費用合計	0	1
経常利益	979	1,527
特別利益		
受取保険金	1	—
特別利益合計	1	—
特別損失		
固定資産除却損	0	0
特別損失合計	0	0
税金等調整前四半期純利益	980	1,527
法人税等	328	498
四半期純利益	652	1,028
非支配株主に帰属する四半期純利益	0	1
親会社株主に帰属する四半期純利益	652	1,026

(四半期連結包括利益計算書)

(第3四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
四半期純利益	652	1,028
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	44	52
退職給付に係る調整額	14	14
その他の包括利益合計	59	66
四半期包括利益	711	1,094
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	711	1,093
非支配株主に係る四半期包括利益	0	1

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

Ⅰ 前第3四半期連結累計期間(2019年4月1日から2019年12月31日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システムコア事業	ITソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,387	3,131	7,043	12,562
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	31	11	42
計	2,387	3,162	7,055	12,605
セグメント利益	583	295	1,489	2,368

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,368
セグメント間取引消去	85
全社費用(注)	△1,503
四半期連結損益計算書の営業利益	950

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(2020年4月1日から2020年12月31日まで)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位:百万円)

	システムコア事業	ITソリューション事業	ネットワークサービス事業	合計
売上高				
外部顧客への売上高	2,365	3,012	7,265	12,643
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	3	9	13
計	2,365	3,016	7,274	12,656
セグメント利益	535	338	1,435	2,309

2. 報告セグメントの利益の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容(差異調整に関する事項)

(単位:百万円)

利益	金額
報告セグメント計	2,309
セグメント間取引消去	92
全社費用(注)	△1,261
四半期連結損益計算書の営業利益	1,140

(注) 全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない総務・経理部門等の管理部門に係る費用であります。